

目次 CONTENTS

はじめに …… 3 英検について …… 7 英検攻略法 …… 8 本書の構成と使い方 …… 10

筆記

大問 1 語法・文法問題 16

出題傾向を知ろう …… 18

解法のポイントをおさえよう

ポイント 1 文脈にふさわしい動詞を選ぶ …… 22

ポイント 2 文脈にふさわしい名詞を選ぶ …… 24

ポイント 3 文脈にふさわしい形容詞・副詞を選ぶ …… 26

ポイント 4 語と語のつながりに注目する …… 28

ポイント 5 動詞の働きをする熟語に注意する …… 30

ポイント 6 副詞の働きをする熟語に注意する …… 32

ポイント 7 形容詞・前置詞の働きをする熟語に注意する …… 34

実践問題 …… 36

解法のポイントをおさえよう

ポイント 8 仮定法の形に注意する …… 50

ポイント 9 代名詞に注意する …… 52

ポイント 10 語法問題 …… 54

実践問題 …… 56

大問 2 語順整序問題 60

出題傾向を知ろう …… 62

解法のポイントをおさえよう

ポイント 11 熟語を見抜く …… 68

ポイント 12 構文を見抜く …… 70

ポイント 13	会話表現を見抜く	72
ポイント 14	分詞構文を見抜く	74
ポイント 15	仮定法を見抜く	76
ポイント 16	関係代名詞を見抜く	78
ポイント 17	比較の応用や慣用表現を見抜く	80
実践問題		82

大問 3 長文穴埋め問題 90

出題傾向を知ろう	92
解法のポイントをおさえよう	
ポイント 18 選択肢が動詞の場合は、語と語のつながりに注目する	96
ポイント 19 選択肢が話の流れを作る語句の場合は、空欄の前後の 文のつながりに注目する	96
ポイント 20 接続詞や接続詞的な働きをする語句をヒントに話の 流れをつかむ	97
ポイント 21 空欄の前後の具体例をヒントに話の流れをつかむ	97
実践問題	104

大問 4 長文読解問題 112

出題傾向を知ろう	114
解法のポイントをおさえよう	
ポイント 22	Eメールの問題ではヘッダーと結びの部分に注目する ... 118
ポイント 23	質問文の内容を理解し、本文中に該当箇所を見つけ出す ... 118
ポイント 24	本文と選択肢を一つひとつ照合して答えを導く 118
ポイント 25	段落全体の議論の流れを理解する 119
実践問題	140

リスニング

第1部 対話の内容一致問題 154

出題傾向を知ろう 156

解法のポイントをおさえよう

ポイント26 選択肢が文の形の場合 160

ポイント27 選択肢が動詞の原形で始まる場合 162

ポイント28 選択肢が名詞句、名詞節の場合 164

実践問題 166

第2部 英文内容一致問題 184

出題傾向を知ろう 186

解法のポイントをおさえよう

ポイント29 選択肢が文の形の場合 192

ポイント30 選択肢が動詞の原形で始まる場合 194

ポイント31 選択肢が名詞句、名詞節の場合 196

実践問題 198

面接

出題傾向を知ろう216

解法のポイントをおさえよう

ポイント32 英文の内容に関する質問に答える (No.1) 226

ポイント33 イラストに関する質問に答える (No.2) 228

ポイント34 自分の意見を述べる (No.3) 232

ポイント35 自分の意見を述べる (No.4) 234

実践問題 236

編集協力	入江 泉
カバー・本文デザイン	清水 裕久 (Pesco Paint)
本文イラスト	奥田 志津男
組版	(株) 創樹
CD ナレーション	Chris Koprowski / Deidre Ikeda
CD 収録	ELEC 録音スタジオ

■英検について

文部科学省後援 実用英語技能検定（通称：英検）は、英語の四技能「読む、聞く、話す、書く」を総合的に測定する全国規模の試験です。大学入試や高校入試における優遇や英語科目の単位としての認定を行う学校が年々増え、またアメリカやオーストラリアなどの大学における留学要件と認められるなど、その社会的評価は高まっています。英検を受験する皆さんは、自己の英語能力の評価基準としてばかりでなく、国際化時代を生きる「国際人」たりうる資格として、さらには生涯学習の目標として、英検を大いに活用してください。

■試験概要

(1) 実施機関

試験を実施しているのは、(財) 日本英語検定協会です。ホームページ <http://www.eiken.or.jp/> では、試験に関する情報・優遇校一覧などを公開しています。

(2) 試験日程

試験は年3回行われます（二次試験は3級以上）。

第1回検定	一次試験	6月	二次試験	7月
第2回検定	一次試験	10月	二次試験	11月
第3回検定	一次試験	1月	二次試験	2月

本書の構成と使い方

本書の構成

本書は英検の各大問ごとに、主に、以下のパートから構成されています。

出題傾向を知ろう

このパートで大問の概要をつかみましょう。ほとんどの大問では「合格率アップのカギ」のコーナーで、各大問の頻出情報を載せています。

解法のポイントをおさえよう

このパートでは大問の問題をパターン分けし、それぞれのパターンの問題の解き方を詳しく説明しています。

実践問題

このパートは、上のプロセスで学んだことが身についているかを確認するための力試しの問題です。

各パートの紹介と使い方

1. 出題傾向を知ろう

「出題傾向を知ろう」のページでは、英検の各大問でどのような形式の問題が出題されるかの紹介と、それをどう解いたらよいかの手順を紹介します。

出題傾向 1. 出題傾向

大問1 オーバービュー

次の() に入れるのに最も適切なものを1, 2, 3, 4の中から一つ選びなさい。

Some experts say that parents today () their children by giving them anything they want.

1 conduct 2 encounter 3 conduct 4 spoil

2008年度 第2回試験

ここが問われる

単語・熟語の知識を問う問題は、基本的には、英文の文脈を正しくとらえ、それに適切な語を選ぶ正統派の問題が多い。よく出題される語句の意味と用法を覚えておこう。

3. 主な出題パターン

単語・熟語の知識を問う問題は、毎回数問ずつ出題される。比較的簡単な問題が多い。基本事項を復習して確実に正解できるようにしておこう。

主な出題パターン

- 単語の問題
文脈に合う動詞や名詞、形容詞、副詞などを問う問題。通常、大問1の前半10問で出題される。
- 熟語の問題
文脈に合う熟語を問う問題。後半で7〜9問ほど出題される。熟語全体が選択肢になっている問題と、その一部を成す単語が選択肢になっている問題がある。
- 文法・語法の問題
大問1の終わりのほうで2〜3問ほど出題される。過去に出題された主な文法項目は、仮定法、代名詞、分詞構文などである。また、語法問題は、動詞の目的語や動詞の一部を成す動詞の變形形を選ばせる問題などが多く出題されている。

4. 解き方のステップ

Step 1 あらかじめ選択肢に目を通し、品詞と意味を確認する。

Step 2 問題文を読み、空欄のあたりまで読んだら、空欄に選択肢を当てはめてみて、自然につながるものはどれか判断する。

Step 3 空欄の前後からだけでは答えがわからない場合は、英文を最後まで読み、接続詞や場面設定を頼りにきちんと文脈をつかんだ上で、どの選択肢が適切か判断する。

5 答えを選んだら、念のため英文全体を読み直し、意味が通る文になっているかを確認する。

例題を解いてみよう

① まず選択肢に目を通そう。trade「～を交換する」、encounter「～に出会う」、conduct「～を行う」、spoil「～を（甘やかして）だめにする」はどれも動詞だ。

② 次に、問題文を見てみよう。文の主語・動詞はSome experts say「専門家の中には～と言うものはいくつか」で、sayの目的語になるthat節の中に空欄がある。that節中の主語はparents today「現在の親たち」で、空欄の後ろのtheir children「彼らの子どもたち」を目的語にとる動詞が入ると考えられる。この段階で、4のspoil「～を（甘やかして）だめにする」に絞られるが、後の文脈も確認しよう。

③ by giving them anything they wantは「彼らに何でも何でも何であれを与えることによって」という意味、やはり、spoil「～を（甘やかして）だめにする」を入れるのが自然だ。

正解 4

※ 専門家の中には、今日の親たちは彼らに何でも何でも与えることによって子どもをだめにしてしまっている、と言うものもある。

1. オーバービュー

この大問で過去に実際に出題された問題です。

2. ここが問われる

この大問の概要です。どんな形式の問題なのか、近年どんな問題が出題されているかなどを説明しています。

3. 主な出題パターン

大問の出題のされ方を分類しています。それぞれのパターンの問題の解き方が後ろの「解法のポイントをおさえよう」で具体的に示されます。

4. 解き方のステップ

この大問を解くときの手順を示しています。

5. 例題を解いてみよう

1. で示された問題の解き方を解説しています。

筆記大問 1

●問題のプロフィール

- ・ **形式** 短い英文の空欄に適切な語句を補う (4 択)
- ・ **問題数** 20 問 (筆記 45 問中)
- ・ **配点** 20 点 (各 1 点)
- ・ **解答時間** 20 分 (目安)

●攻略のための学習法

- 👉 筆記大問 1 では、主に語彙力が試される。語と語のつながりや前後の文脈から、どれが正解か判断しなければならないので、単語や熟語を覚えるときには、単に意味だけでなく、文中でどのように使われるのかを意識しながら例文とともに覚えるようにしよう。
- 👉 文法問題では、形が問われる。仮定法過去完了なら〈If + 主語 + had + 過去分詞~, 主語 + 助動詞の過去形 + have + 過去分詞 ...〉など、基本形をきちんとマスターしておこう。
- 👉 語法問題を解くには、熟語の知識が必要である。出題されやすいものをおさえておこう。

大問 1 オーバービュー

次の（ ）に入れるのに最も適切なものを 1, 2, 3, 4 の中から一つ選びなさい。

Some experts say that parents today () their children by giving them anything they want.

- 1 trade 2 encounter 3 conduct 4 spoil

2008 年度 第2回出題

ここが問われる

単語・熟語の知識を問う問題は、基本的には、英文の文脈を正しくとらえ、それに合う選択肢を選ばせる正統派の問題が多い。よく出題される語句の意味と用法をきちんと覚えておこう。

また、文法・語法の知識を問う問題は毎回数問ずつ出題される。比較的簡単な問題なので、基本事項を復習して確実に正解できるようにしておこう。

主な出題パターン

• 単語の問題

文脈に合う動詞や名詞、形容詞、副詞などを問う問題。通例、大問 1 の前半 10 問で出題される。

• 熟語の問題

文脈に合う熟語を問う問題。後半で 7～8 問ほど出題される。熟語全体が選択肢になっている問題と、その一部を成す単語が選択肢になっている問題がある。

• 文法・語法の問題

大問 1 の終わりのほうで 2～3 問ほど出題される。過去に出題された主な文法項目は、仮定法、代名詞、分詞構文などである。また、語法問題は、動詞の目的語や熟語の一部を成す動詞の変化形を選ばせる問題などが多く出題されている。

Track 1

リスニング第 1 部 オーバービュー

対話を聞き、その質問に対して最も適切なものを 1, 2, 3, 4 の中から一つ選びなさい。

- 1 He has to move abroad.
- 2 He wants a larger kitchen.
- 3 His wife thinks it is too old.
- 4 His children have moved away.

スクリプト

A: What do you think of this house, sir? It's quite new and has three bedrooms, two bathrooms, and a large kitchen.

B: It's great. But why is the owner selling such a nice house?

A: His company is transferring him overseas.

B: I see. Well, I'd like to bring my wife and kids to see it this weekend.

Question: Why is the owner selling his house?

2008 年度 第 2 回出題

ここが問われる

リスニング第 1 部は、A → B → A → B の男女の対話を聞き、その対話に関する質問に答える形式。選択肢は問題冊子に印刷されている。対話も質問も 1 回しか読まれないが、複雑な内容の対話はほとんど出題されない。話の流れを大まかにつかむつもりで聞こう。

対話に出てきた表現が、質問文や選択肢では別の言葉で言い換えられている場合が多いので、同意語や言い換えに慣れておく必要がある。質問文は、What で始まる疑問文と Why で始まる疑問文のどちらかに限定されている。また、問題冊子に印刷されている選択肢の形から、質問文の内容がある程度予測できる。

主な出題パターン

- 選択肢が文の形の場合
- 選択肢が動詞の原形で始まる場合
- 選択肢が名詞句、あるいは名詞節の場合

解き方のポイント

- 問題と問題の間に 10 秒の解答時間があるので、次の音声の流れる前に選択肢にざっと目を通して、質問の内容を予想しておくとうい。
- 選択肢の形は、①文の形、②動詞の原形で始まる形、③名詞句、あるいは名詞節などの形の、大きく 3 つの種類に分かれる。160 ページ以降のポイント解説で説明するように、これらのうちのどの形かさえ把握できれば、質問の内容がある程度予想できる。
- この予想に基づいて、問われる可能性のある情報に注意しながら対話を聞く。特に必要だと思われる情報は、簡単にメモを取っておこう。
- 質問は、特に文頭、主語、動詞に注意して聞き、何が問われているのかをつかもう。
- 解答に確信が持てない場合は、最初に正しいと考えた選択肢にマークしよう。迷いすぎて次の問題を聞き逃さないよう注意する。

例題を解いてみよう

選択肢はいずれも、完全な文の形。主語が He、His wife、His children となっているので、それが指す人たちの行動に注意して聞こう。質問文は「なぜ所有者はこの家を売りに出しているのか」という意味。B の最初のセリフである「すごいですね。でも、なぜ所有者はこんないい家を売りに出しているのですか?」という問いに対し、A は His company is transferring him overseas. と答えている。直訳すると「彼の会社は彼を海外に異動させる」だが、彼の立場から見れば、「彼は海外へ引っ越さなければならぬ」と表現できる。そのように言い換えた 1 の He has to move abroad. が正解。

正解 1

訳 A: この家はどうですか? とても新しく、ベッドルームが3つにバスルームが2つ、大きなキッチンもありますよ。

B: すごいですね。でも、なぜ所有者はこんないい家を売りに出しているのですか?

A: 彼は海外に転勤になるんですよ。

B: なるほど。それじゃあ、今週末にこの家を見もらうために妻と子どもたちを連れてきたいですね。

質問: なぜ所有者は彼の家を売りに出しているのですか。